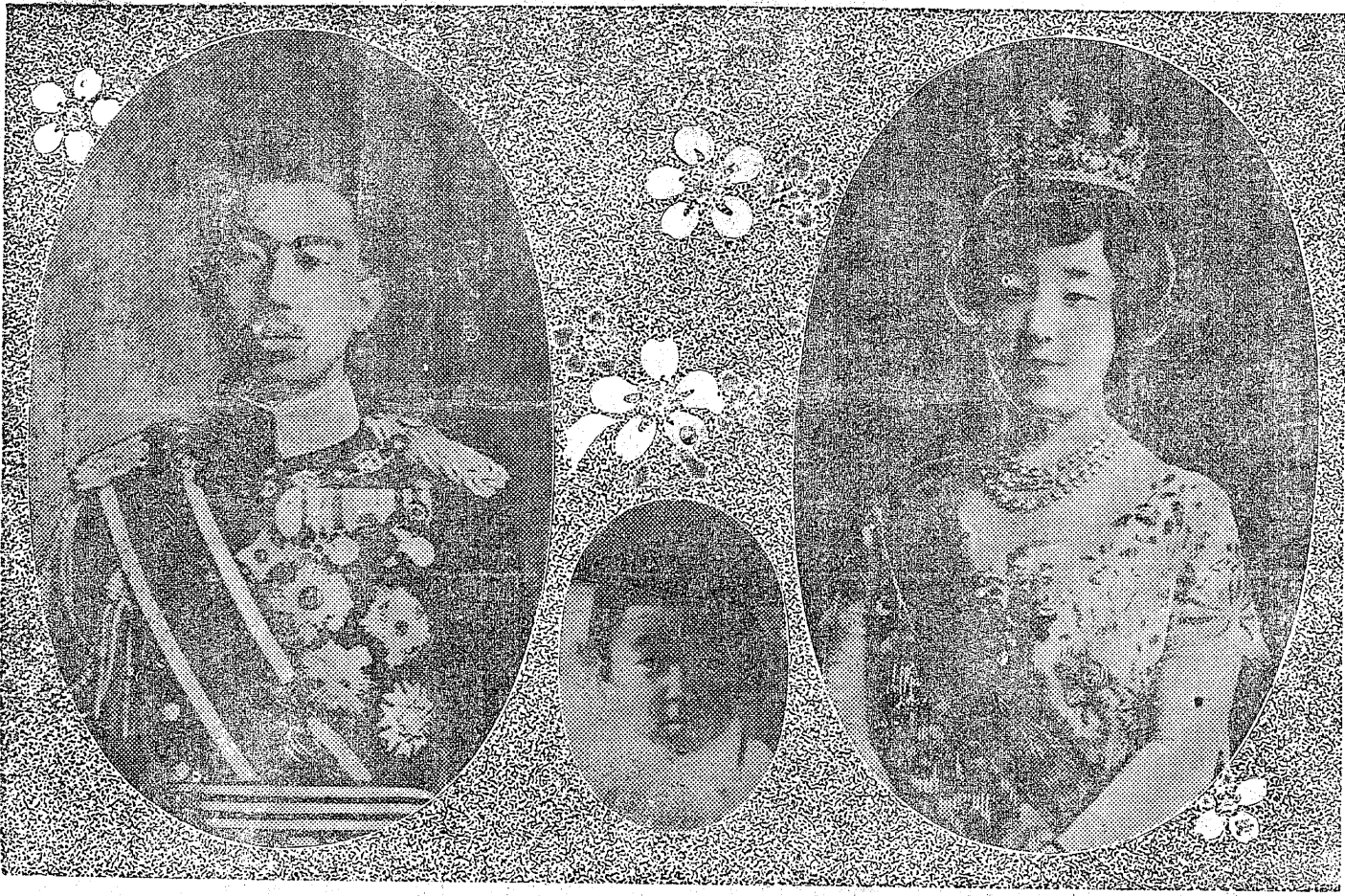


磐城之民聲

發行日 一、十一、廿一 (毎月三回)
編輯兼發行人 齋藤角治
行印刷所 磐城之民聲社
福島縣平町南町七十八
廣告料 普通 行五十錢
特別 行七十錢
一部十錢 一月廿錢 送料共

聖 壽 無 窮



年頭所感

非常なりし昭和九年は國民の緊張裡に暮れて新たな尙非常時の昭和十年の改正を迎ふ。果して我等九千萬同胞の心事一層の重責を擔ふの感なくんばあらず。見よ、赫炳とし、紅東天に差昇る太陽の光にも異雄の輝ありて日の本の國民に充分なる覺悟を勇示するの感あるにあらずや。
日の本は即ち我大日本帝國である。斯の光輝ある國家に雄々しくも惠悽する以上萬代不易を世界に誇る皇紀二千五百九十五年の歴史に對し國民は擧げて其の榮譽を誇るに共にも進むて愈々益々繁輝一番世に比類なき國威の發揚を目指して力奮することに於て國民の義務は達せられ、國家の礎は愈々萬代ならん。
本紙も多數愛讀者諸賢の鞭撻と愛護により恙なく其の使命を完ふし得て茲に昭和十年の改正を迎ふるに當り、眞に社會の木鐸としてその使命に悖らず進むては國家社會公益のため一層の奮勵と活躍を惜まず。而して新聞紙としての眞使命を完遂することに勇往邁進することを確約す。
完全なる使者として貢獻怠らざることを誓ふ所以に外ならず。乞ふ本社の微意を愛容されんことを茲に意義深き昭和十年の改正を迎ふるにあたり諸賢の奮勉と健康を切に祈願して止まず。

昭和十年一月元旦

磐城之民聲社
社長 齋藤 岳 洞

砲烟山野を震動して

非常時國民に一層の奮興を促した

杉山内郷在郷軍人分會長の意氣

豫告

飽く迄も敬神の念に生き、飽く迄も正義の志に則る常磐炭礦界の勇者杉山今朝吉氏は從來益々の勇績の盛運を贏ち得て一身に信望を聚めてゐるが、氏は常に大和民族の精神作興のため寢食を忘れて盡瘁され、今や大内郷の軍人分會長としての榮譽を恥めず、進むて青年教養に専心努力されてゐるが、過般に於ける發火演習は非常時代の國民に一層の緊張味を増長せる有爲の催なりとして氏の精神の進りはいたく賞讃の的となつてゐる。
商業の繁榮は常に商略の勝れたる者に期することが當然事である。見よ仁丹の名と需用とを世界的にした森下藥房の商略。然れども獨り森下のみが雄なるも、たゞは各自の算用さへ勝れたりとせば敢て之を凌駕することには異論はない等である。本社はこの意味に於て商營繁榮策の前提として各自の店の代名刺と云ふべきカレンダーの展覽會を開催することとした。奮つて協議あらんことを切望する。
主催 磐城之民聲社

元旦警句

○世は愈々出て、益々非常時を叫ばしめつゝある。徒らに墮眠を貪り酒食に耽るべき時にあらず。
○假りに斯る非人間ありとせばそは和民族性の面汚しとも云ふべきである。
○東北凶作地方に多大の同情集る。此所が金では買えぬ日本人種の特徴性である。然るに中には一夜翠帳の夢に百金を惜げもなく抛け出す輩がこうしたために俊巡する者ありと聞く、昭和十年の一月元旦から宜ろしく心氣一轉眞の國民性が歸らざれば必ず自己の財産が凶作を生む事を忘れるな小名濱も大きくなりかけては居るがまだ、町民の堅志協同が伴はないようだが、甚だ遺憾に堪へない。即ち町の進展は町民の至福となる理だ。一齊に立つて町發展のために奮勵努力されんことを切望す
○大平町も舗装道路の修工によつて交通上至便となつた。嬉しむ次第であることは各自同感だが、これからの平町の仕事は愈々忙はしくなるのである。徒らに町の繁榮策にのみ醉盟せず平地よりコンクリート道は路は歩んで下駄のヘルことを必ず留意すべきである。
○平町に於ける小作農業者が例年よりの不作にも拘らず地主に對して敢へて負けてくれることも云はないよふだ、之れは小作人一般が目醒めた傾向といつてもよからう。
地主連だつて心のない理もあるまいが、小作人等が昨年は平年作以上取つたからつてマサカー一升の米でも余計に提供した理でもないから喰ふだけ取れば仕方がないと諦めてゐる處に双方の融合が出来お互に扶け合つて行くことにもなる。永年此の考ひを忘れず理解合つて欲しいものだ。

非常時

昭和十年に活躍を期待する人々

(一)

△好間小學校長吉田校長
皇道の旺盛を冀ひ常に諄々と
して大和民族の崇ぶべき精神
を高唱する立派なる教育家、
謂所昭和の高山彦九郎として
後世史上を飾る人。

△釜屋の會計さんである
諸橋元三郎氏、廿餘貫のタイ
プ堂々偶々一日十里の道程を
活歩して体力健康の實勢を示
す隠れたる青年の教訓が之れ
だ云ふ迄もなく命あつての物
種である。ふんだんの体育健
康法が之れだ。青年よ、一日
十里突破せよともこの意義に
則り健康法を計れ。而して健
全なる國民として役に立て。

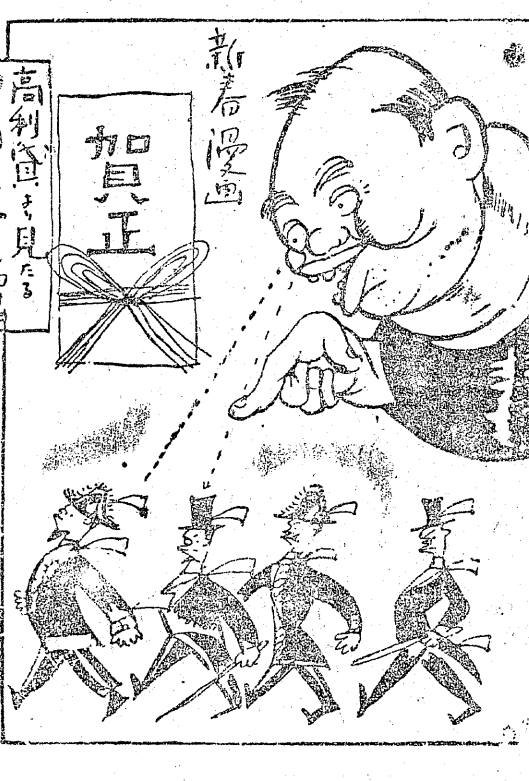
△近時女子青年團、各種婦人會
の重として活躍し實績を納め
つゝある人に門傳辯護士婦人
石川湯本町長婦人、清野キヨ
女史等が異彩を放つて活動を
續けてゐる。誠に非常時にふ
さはしい方々ではある。

△双葉富岡町の坂本榮助翁
齡既に七十七を過ぎ農具を手
にしてカクシヤクとして農村
青年の志氣興隆を教訓する爲
めに富岡農村の青年は翁を第
二の尊徳翁として師事し自己
の至福も増長しつゝある。

△富岡小學校長佐藤先生
はす。

亦悉く社意を体して正直に働
く所以に湯本無盡の大成は確認せ
られつゝあるのであるが、双葉
郡山、相馬地方各支店とも相當
以上の好成績を挙げつゝある事
は一般會員も湯本無盡の堅實を
認め目を逐ふて各地とも加入者
多く業務の増進を満悦されてゐ
ることは地方金融界將來の玉者
として誇るに至ることも決して
遠くはあるまい。昭和十年の新
春と共に非常時金融界に善處し
て活躍あらんことを望む。

「萬縁中……紅一點の感があつた」
諸橋農銀取締役の前垂姿
過般農銀重役連が各支店の監査せられると共に一種の深威に
を行つた際、記者は所用上平支打られた。それは氏の平常の信
店で御歴々ご合つたが、何にが望と人格を悉知せるが故にであ



さて縣下有数の物持ち丈けに何る。即ち二代秀忠將軍として先
れもモーニングタイプか、大島代久太郎翁の遺訓を守り、勝つ
のお對ひ、果ては羽二重の紋付で兜の緒を締つゝ益々釜屋王國
きに仙臺平の袴と云つた出立はの礎を確大せる所以が此所に存
流石に立派づくめであつたが、するを悦ぶものであり、平素に
此の間に交つた諸橋久太郎氏の於ける氏の心事を賞讃するもの
木綿衣に前垂姿が一寸異様に感である。

平町鎌田町 金成國雅

玉川村助役 宮内久枝

玉川小學校長 大塚吉造

湯本自動車會社 坂本淺吉

平町四丁目 ツルヤ洋品店

平町三丁目 角治株式会社

平町 色川材木店

日之丸ムシカマド製造元 武田製陶所

温泉 熱心湯

平町六丁目 佐藤榮吉

平町十五丁目 佐藤製作所

平町 梅崎安由

湯本町 籠倉醫院

湯本町 吉田恭平

湯本町 鈴木自動車部

平町前 住吉屋支店

平町大工町 多田井質店

平町久保町 醬油醸造會川延太郎

平町 渡邊久

平町才地小路 木商 佐藤福太郎

湯本町 大丸家具店

松竹 新興 世界館

平二丁目 古山電氣商會

平町前 五十嵐酒店

平町大町 合資 三共商事會社

平町 平館

江名町 吉田厚

小名濱町 相澤寅松

小名濱町 水野政次郎

四倉町 菅波末吉

小名濱町 比佐家

小名濱町 八島屋號 立花雄七

湯本町 高橋由兵衛

湯本町 四ツ谷酒店

平町仲町 三瓶電氣商會

内郷村 炭礦用 佐藤三平

江名町仲之作 太陽丸

江名町 遠藤俊一郎

平町 周旋業 長谷川辰之助

平町 周旋業 大塚余十

平町五丁目 公周旋業 青木恒纒

仙臺市 七十七銀行本店

仙臺市 宮城銀行本店

仙臺市 白石支店

福島縣平町 釜屋商店

平町三丁目 金萬商店

皆様の好御相談相手 一德合資會社

平町四七 高木工場

福島市 福島電燈株式會社

小野新町 小野新町裁縫女學校 校長 横山己之吉

郡山市 郡山無盡會社

福島市 書籍店 古今堂

福島縣前 松葉館辨當部

賀 社長 齋藤岳洞

正 主幹 鈴木清園

部長 木村其角

農具研究の王者

坂本榮助翁を推讃す

全国的に農具研究王として名聲を轟はるる農國小川の農村に於ける農事の進展と力を見る時……小川學校長として學界に輝く田久校長平時たゆまぬ教養の立派であることを憶はせられる校長の實生活を見たものは必ず同氏の實際に感動する事も偶然ではない。

青年の教養怠りなき

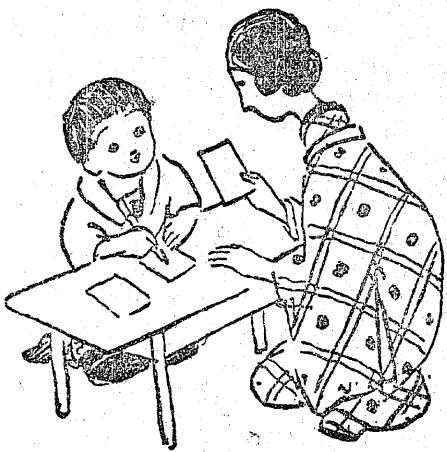
富岡小學校 佐藤校長

國民教育と青年教養に飽迄終始する佐藤校長の人となりを崇ぶ。

深淵なる學識を有する

幾世橋小學校長 鵜沼彦壽氏

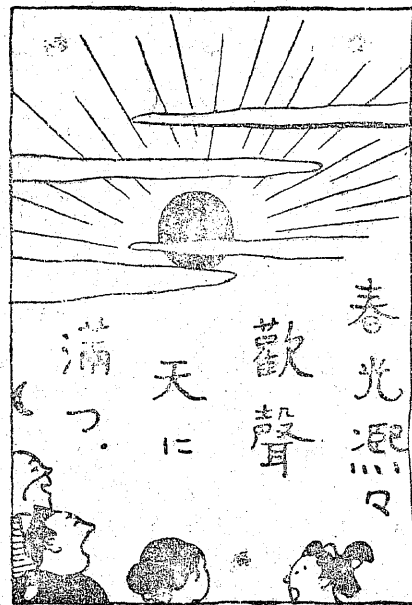
ハレー慧星の發見者として世界的に天文地理學者の名を謳つゝある双葉郡幾世橋小學校長鵜沼氏は今亦双葉地方に於ける南朝史蹟の研究貢獻者として氏の名聲は愈々輝くに至つた。



幾世橋小學校長 鵜沼彦壽氏
年賀狀
旅の父へは子にかへせ (三次)

農村青年は強く

斯くして立て…… 教訓怠らぬ田久校長



長として學界に輝く田久校長平時たゆまぬ教養の立派であることを憶はせられる校長の實生活を見たものは必ず同氏の實際に感動する

青年の農事にいそしむ青年の努であらふ。

名士揃ひの

大久村役場

村長柳井氏は一世に鳴る剛勇であり、涙ある才腕家である。助役飯島氏亦以前警察界に巾を利かした明敏家。収入役強口氏堅い人では天下一品の稱がある。

浪江桑島町長の

振つた挨拶振り

桑島町長は、よく云つたものだ。兼ねて戸籍吏員會の浪江町に催された、その當夜關係者諸氏に先づ第一聲を放つて曰く四合瓶は必ず乾し給へ！ 残せば次回は二合瓶酒にするよ！と云つた、云ひ得て至妙なり。

粘土採掘礦業

村會議員 古市喜三郎

神佛、祭、葬具一式

博盛堂

店主 松本幸松
平町接連小路 電話(呼)五三五

| | |
|-----|-------|
| 新山町 | 竹原農具店 |
| 富田池 | 岡木工場 |
| 上場役 | 岡員一村 |

富岡町長 早川清久
富岡町 郡農會吏員一同

富岡町會議員一同

旅館 龜屋本店
富岡驛前 龜屋支店
美味驛辨

土木建築請負業 林七郎

木戸村 木材製材所石川工場

富岡町 糸川醫院

富岡町 大原吳服店

富岡町郵便局長 蛭田恭三

富岡町 料理旅館二業組合

土木建築設計
工事監督

大井建設設計事務所 出張所

平町 仲間町

土木建築出願
事務取扱

